

## あじさい

今日は、朝から雨です。楽しみにしていたドッジボール大会が中止になってしまいました。放か後になっても、雨はふりつづいています。

日直だったひろしは、学級日しを書きながら、ふうつとため息をつきました。教室のまどから外を見ると、中庭にきれいなピンク色のあじさいがさいていました。



ひろしは、まよわず学級日しの「今日の五七五」に、「今日は雨 あじさい元気 おれしよんぼり」と書きました。そして、学級日しを先生に出すためにしよく員室へ向かいました。

と中、中庭のそばのろう下を通りました。中庭をよく見ると、あじさいがたくさんさいていることに気づきました。

教室のまどから見たピンク色のあじさいを見つけました。近くで見ると、とても大きく、ピンク一色できれいです。

ピンク色のあじさいの近くに、青色のあじさいがさいていました。青色のあじさいは、きれいな丸い形をしていて、まるで雲ひとつない空のような青です。



ひろしは、ピンク色や青色のあじさいをじつと見つめていました。

（あつ、そうだ。早く学級日しを出さなきゃ。）  
と思ひ出したひろしが、しよく員室へと歩き始めた時、  
中庭のすみにさいているあじさいが目にとまりました。  
ひろしは、そのあじさいを見て、思わず声をあげてしま  
いました。そこには、ピンク色と青色がちょうど半  
分ずつのあじさいがひっそりとさいていました。もの  
さしで線を真つすぐ引いたように、ピンク色と青色に  
分かれていきます。ひろしは、こんなあじさいを見たの  
ははじめてです。

しばらく見とれているうちに、いつの間にか雨がや  
んで、日がさし始めました。ピンク色と青色のあじさ  
いの花についた雨のしずくが、日に当たってきらきら  
とかがやいています。

ひろしは、  
（今日の五七五を書き直そう。）  
と思ひ、教室へともどっていききました。

